



野口幸紘くんのチームが全国で躍動 第49回全国道場少年剣道大会



「全国道場少年剣道大会」は7月29、30の両日、日本武道館で開催され、岡田小学校6年生の野口幸紘くん＝恵久美＝が所属する愛媛成武館道場が全国の舞台で躍動しました。

県予選を1本も落とすことなく優勝した成武館。全国大会でも勢いそのままに、5回戦を勝ち抜き、見

事決勝トーナメントに進出しました。トーナメントでは惜しくも愛知県のチームに敗れてしまいましたが、幸紘くんは全国大会を通じて、得意の面で3本取るなど、鋭い剣さばきで活躍しました。

県予選では個人でも優勝し、夢だった愛媛ジュニア選抜にも選ばれた幸紘くん。それでも現状に満足することはありません。「昨日よりも早く剣が振れるように、素振りを250回しています。9月14日に大阪である全国大会では今度こそ、優勝したいです」ときっぱり話し、さらなる夢へと瞳を輝かせていました。



地球とからだにやさしい料理を エコ&ヘルシー料理教室

「エコ&ヘルシー料理教室」は7月26日、福祉センターで開催され、松前町保健栄養推進協議会の皆さんと4家族10人が、生ごみを減らしながら健康なからだをつくるメニューを調理しました。

メニューは、町の主任栄養士が作成した、丸ごとイカカレー、豆苗と春雨のサラダ、にら玉スープ、スイカの4種類。食材は、町内で収穫されたネギやニンジンなどの野菜やちりめん、松前港に水揚げされたイカやエビなど、できるだけ旬の地元産にこだわりました。調理も、イカのわたを丸ごと加えてコクを出したり、ニンジンは流水で洗って皮付きのまま薄いいちょう切りにしたりするなど、エコとヘルシーの工夫をしました。

調理後は、持参したマイ箸でおいしくいただいた皆さん。参加した成城美保子さん、美和ちゃん親子＝宗意原＝は、「家で使わない食材を使ったり、はさみを使って調理したり豆知識が知れてよかった」「イカがおいしかった。家でもやってみたい」と話していました。



大阪で松前町を PR えひめ愛味のフェア

愛媛の農水産物や県産品を集めた「愛媛のふるさと愛味のフェア」は7月24～27日、大阪市のダイキなんば店で開催されました。会場には蛇口をひねるとみかんジュースが出る「みかん蛇口」も登場し、連日多くの人でにぎわいました。

フェアには県内6市町が参加し、本町からも松前漁協、珍味組合、(株)まさき村、(株)世起の4事業者が出展。ちりめん、珍味、はだか麦やげんこつ飴など、松前自慢の味が大好評でした。また、24日にはエミフルズの2人も応援に駆け付け、松前町と特産品のPRを手伝ってくれました。



④イカさばきに苦戦中 ⑤ラップの芯を使って、とうもろこしの実をとる ⑥エコでヘルシーな料理をみんなでおいしく食べる



柴川定雄さんと松前町交通安全母の会 連合会に知事表彰 第53回交通安全県民大会

「交通安全県民大会」は7月16日、ひめぎんホールで開かれ、交通安全協会ら約2,000人が交通事故のない「愛顔あふれる愛媛県」を目指すことを誓いました。

また、交通安全活動に尽力した個人・団体の表彰が行われ、本町から交通安全指導員の柴川定雄さん＝塩屋＝(写真左)と松前町交通安全母の会連合会(窪田由美会長。写真右)が知事表彰を受賞しました。



町保健栄養推進員4人が受賞 県食生活改善推進連絡協議会 40周年記念大会

「平成26年度愛媛県食生活改善推進連絡協議会40周年記念大会」は7月15日、ひめぎんホールで行われ、別府恵美子さん＝筒井＝、喜安浩子さん＝昌農内＝が栄養改善事業功労者知事表彰を、尾田チエ子さん＝宗意原＝が食生活改善推進連絡協議会会長表彰を受賞。郷田和子さん＝恵久美＝が40周年記念感謝状を受け取りました。

松前町保健栄養推進員として、郷田さんは昭和49年の協議会結成当初から、別府さんは昭和57年、尾田さんは昭和60年、喜安さんは昭和61年から長年にわたり尽力。現在も健康づくり推進活動を行い、地域づくりに貢献しています。



詐欺被害防止に向けてタッグ 「特殊詐欺防止に関する協定書」調印式

「特殊詐欺防止に関する協定書」調印式は8月5日、伊予警察署で行われました。

この協定は、警察と行政が一体となって詐欺被害防止を行い、安全で安心な町づくりを進めるために、伊予警察署、伊予市と松前町が共同で調印したものです。近年、振り込め詐欺などに代表される「特殊詐欺」や「悪質商法」などの被害が多く発生。金銭の要求名目を次々に変えたり、公的機関を装うなど、手口の巧妙化も進み町内でも被害が後を絶たないことから、今回の協定が実現しました。

調印後、白石町長は「防止に向けて、犯人の考えを上回ることが大切です。そのために、住民も一緒になって知恵をしばり、みんなで詐欺防止のために努力していきたい」とあいさつ。詐欺防止に向けて、一層の連携を図っていくことを誓っていました。

今後、それぞれの機関が保有する情報を共有し、迅速かつ、きめ細かい被害防止対策を進めていきます。



④表彰状を手にする推進員の皆さん。写真左から、喜安さん、尾田さん、別府さん ⑤感謝状を手にする郷田さん



有限会社一貴産業が受賞

優良建設工事表彰

町は、建設工事の技術の向上と適切な施工を確保することを目的に、町が発注した建設工事のうち、特に他の模範となる優秀な工事を表彰しています。

本年度は、有限会社一貴産業（金山元重代表取締役）が施工した次の工事が優良建設工事に選定され、白石町長より表彰状と表彰盾が授与されました。2度目の受賞を果たしたのは同会社が初めてとなります。

＜工 事 名＞ 汚水南黒田地富地区^{きよ}管渠工事



卓球で 87 人の男女が熱戦

第 37 回松前町卓球大会

「第37回松前町卓球大会」は7月13日、松前公園体育館で開かれ、3部門で熱戦が繰り広げられました。結果は次の通りです(敬称略)。

▶**団体の部** ①松前中学A(向井崇敏、関家脩平、宮崎凌、重川翔太、山下奨斗、出海大翔) ②みきゃん(野口英伸、永田敏治、本田いづみ、篠崎佐代子、松原とく子)

▶**男子シングルス部** ①武田智郁②野口英伸③沖井康男③金子美治 ▶**男子シングルス二部** ①山下奨斗②関家脩平③梶野唯斗③向井崇敏



リアルフリークが優勝

松前町軟式野球大会

「松前町軟式野球大会」は7月6日、松前公園多目的広場で開催され、猛暑の中、7チームが熱戦を繰り広げました。結果は次の通りです。

優 勝 リアルフリーク
準優勝 ユニオンズ



町内のスポーツ少年団が交流

スポーツ少年団交歓会

「平成26年度第1回スポーツ少年団交歓会」は7月12日、松前公園で開催され、松前、北伊予、岡田のスポーツ少年団チームの交流試合が行われました。

競技はミニバスケットボールとソフトボールの2競技を実施。学年別の総当たり戦を行って、白熱した試合を繰り広げました。結果は次の通りです。

▶**ソフトボール6年**

①北伊予小②岡田

▶**ミニバス6年**

①松前男子②北伊予

▶**ミニバス5年**

①松前男子②岡田



「黒田」チームが優勝

第26回松前町レクバレーボール大会

「第26回松前町レクバレー大会」は6月29日、松前公園で開かれ、熱戦が繰り広げられました。

大会には7チームが参加し、息の合ったコンビプレーで会場を沸かせました。結果は次の通りです。
優勝 黒田 準優勝 緑 3位 ラブリーズ



本番中止も前夜は大盛り上がり

まさき町夏祭り前夜祭

「まさき町夏祭り前夜祭」は8月1日に行われました。夏祭り本番は、あいにくの天候で中止となりましたが、前夜祭は予定通り2つのイベントが実施され、各会場とも大盛況でした。

「松前え〜とこカルタ大会」は松前公園体育館で開催されました。昨年に続き2回目の開催となった今回は、小学生の部に加えて老人クラブの部を新設。子どもも大人もみんな童心になり絵札を追って、白熱した戦いを繰り広げていました。

「腕自慢・のど自慢のつどい」は文化センターで開催されました。出場した町内の腕自慢・のど自慢の皆さんは、歌、ダンスや伊予万歳などバラエティに富んだパフォーマンスを披露し、観客を魅了。会場からは合いの手や温かい拍手が送られていました。



新農業委員 21 人が決まる

松前町農業委員改選

任期満了に伴う松前町農業委員の改選で、7月20日からの3年間、農家と農業を守る農業委員が決まりました。委員は選挙で選出された16人と、農業団体、町議会から選任された5人の合わせて21人です。

会長には仙波俊彦さんが、会長職務代理には重川唯男さんが選出されました。

選挙による委員

上田 陽一(南黒田)
田中 昭雄(北黒田)
上岡 憲市(宗意原・新立・本村)
仙波 俊彦(筒井)
渡部 正照(徳丸)
中村 清則(中川原)
神野 尊久(出作)
高石 健一(神崎)
済川 利和(鶴吉)
高市 秀夫(大溝・横田)
渡部 俊則(永田・東古泉)
大政 一夫(大間)
足立 武政(上高柳・恵久美)
重川 唯男(昌農内・西高柳)
大川 助俊(北川原)
嘉村 恒俊(塩屋・西古泉)



会長 仙波俊彦さん



会長職務代理 重川唯男さん

選任による委員

三好 充(松山市農業共同組合)
池内 直人(伊予喜多農業共済組合)
木村 博(土地改良区)
鳥越 英子(町議会)
岡本多恵子(町議会)



自分たちの手で自然を守ろう

ビオトープ・レンジャー

環境保全ボランティア活動「ビオトープ・レンジャー」は7月30日、ビオトープエミフルで開かれ、子ども環境学園生25人と保護者ボランティアが参加しました。

参加者は松前町まちづくり塾の平井屯さん指導の下、NPO 法人えひめリソースセンター、いよココロザン大学の皆さんと草引きを実施。その後、ビオトープ内の昆虫や水生生物を観察し、自然の大切さを体験しました。



⑤エミフルズがCMでおなじみの曲に合わせてダンスを披露
⑥幼稚園の園児もかわいい歌声で観客を魅了
⑥白熱した戦いを見せるカルタ大会



ようこそ松前町へ

まつまえ・まさき姉妹都市ふれあい交流事業

姉妹都市である北海道まつまえ町の児童10人が、ふれあい交流事業の一環として、7月28日から30日まで本町を訪れました。

今回初めて顔を合わせた児童たちは、初めはお互いに緊張した表情を見せていましたが、次第にどの児童も笑顔に。松山城では、ロープウェイに乗ったり城内見学を行ったりして、みんなで楽しいひとときを過ごしました。

2日目には、両町の児童21人で中矢副町長を表敬訪問し、交流事業や松前町を訪れての感想などを話しました。その後、エミフルMASAKIに移動し、ショッピングと夕食を満喫して、町内での時間を過ごしました。

その他にも、とべ動物園見学、道後散策などを通じて愛媛の文化に触れ、さまざまな体験をみんなで共有することで、1,500キロ離れた友人との絆を深めていました。

12月にはまさきの児童が、まつまえ町を訪問する予定です。お別れ式でも「冬のまつまえが楽しみです」と、まさきの児童が話すなど、双方の児童が握手を交わし、まつまえでの再会を心待ちにしていました。



㊤初日の松山城見学。かぶとを被って、興味津々の児童たち ㊦2日目に行った砥部焼の絵付け体験。一人一人が思い思いに絵筆を進めていく



㊧庁舎前で、みんなで記念撮影 ㊨最終日、坊っちゃん列車を降りて、「はいポーズ」 ㊩最終日の松山空港でのお別れ式。再会を誓って握手する



㊤芝居の終盤。迫真の演技を見せる ㊦殺陣で観客を魅了 ㊧あいさつする座員



虫干祭で熱演

徳丸一座

徳丸一座（八城秀樹座長）の第19回公演は8月2日、虫干祭で人がにぎわう高忍日賣神社に設けられた特設舞台上で開かれ、大型時代劇「恩愛しぐれ笠」全三幕を上演しました。

当日は、台風の影響で雨が降る中での開催となりましたが、それにも負けず上演を行った座員たち。キャストはプロ顔負けの熱演をし、2幕と3幕の間には音楽に合わせてダンスを披露しました。また、音響、照明などを担当するスタッフは芝居に合わせて舞台を彩るなど、座員が一丸となって約2カ月の練習の成果を発揮。終了後の会場は、熱演に引き込まれた観客と充実感に満ちた表情の座員との間で一体感が生まれていました。